

# PeopleSoft アダプタへの SQL クエリー ログの追加

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料はピープルソフト アダプタ ログに SQL クエリ情報を追加するためにプロセスについての情報を提供したものです。

## 前提条件

### 要件

Cisco は Tidal Enterprise Scheduler 5.3.1.x のナレッジがあることを推奨します。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Tidal Enterprise Scheduler 5.3.1.x に基づいています。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

ピープルソフト アダプタ ログはデータを取得するためにアダプタがピープルソフト データベースに送信しているクエリことを示しません。

## 解決策

このセクションはピープルソフト アダプタをログオンする SQL クエリを有効にするのに使用できるプロシージャを提供します。

ピープルソフト アダプタをログオンする SQL を有効にするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ピープルソフト サービス ディレクトリに行って下さい。これはマスター サービス ディレクトリ 名の下にディレクトリです: {B20EC120-2EB5-4d5f-8133-73FA37225667}.
2. それがまだあっていない場合、構成と指名されるディレクトリを追加して下さい。
3. 設定ディレクトリで **service.props** と名付けられるファイルを追加して下さい。
4. service.props ファイルで次を追加して下さい: DatabaseLog =Info。
5. ファイルを保存し、そしてマスターを再起動して下さい。
6. ピープルソフト ログで今 SQL がアダプタを使用している問い合わせることを見るはずで

。

## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)